

新たな攻撃手法も確認されています！

ランサムウェアによる攻撃に要注意！

「**ランサムウェア**」と呼ばれるコンピュータウイルスに感染すると、パソコン内の**ファイルが暗号化**され、使うことができなくなります。暗号化したファイルを元に戻すために**金銭を支払うよう要求**されることから、**ランサム（身代金）ウェア**と呼ばれています。



ランサムウェアによる被害例

ランサムウェアによる被害は、これまでは

- ・メールの添付ファイルや記載されたURLのリンク
- ・ランサムウェアが仕込まれたウェブサイト

などを利用しての**不特定多数への感染**が主なものでした。



さらに、最近では**特定の企業や組織を狙って**感染させる標的型の攻撃で、

- ・**人手によるランサムウェア攻撃**
- ・**二重の脅迫**

という新たな手口が確認されています。



- ・ウイルス対策ソフトを導入し、OSやソフトウェアは最新の状態を維持しましょう。
- ・メールの添付ファイルやURLを安易に開かないようにしましょう。
- ・新たなランサムウェア攻撃には、あらゆる面での基本的な対策を実施することが重要です。
- ・ネットワークへの侵入対策として、インターネットからアクセス可能な装置のアクセス制御が適切に行われているか、脆弱性は解消されているかを確認してください。
- ・バックアップを確実に取得し、ネットワークから切り離して保管しておきましょう。



独立行政法人情報処理推進機構（IPA）の「ランサムウェア対策特設ページ」
(https://www.ipa.go.jp/security/anshin/ransom_tokusetsu.html) が更新されています。
ランサムウェアへの感染防止や被害低減について掲載されていますので参考にしてください。